

後援会報

第1号

平成29年7月14日
発行/国際情報高校
後援会
印刷/(株)いんぱん



新潟県立国際情報高等学校
校歌

官 漢 章 二

白雪がややく越後三山
兼平波英 芽あけて
天地つらぬく響きあり
呼ぶは 光の 海の果て
新潟国際情報校の
夢よそのをま わが母校
不滅の地球は 夢を信じて
常に奇来 意気高く
自主の志高く 書つばは
生むる理想に いま燃えて
湧き来るから たくましく
明日を 生み出す 野の命
べのまよと 越後大和の
風を流れも 清く澄み
山河 歌あり あたたく
胸に 鼓の 火をとらす
新潟国際情報校の
夢よそのをま わが母校



後援会長
関 常幸

平成4年に創立したKJは、四半世紀の昨秋「KJ後援会」が発足いたしました。

企業を訪問した時、「後援会は何を目指しているの？」の問いに、私の「夢」は、創立半世紀（50周年）時には、地元の皆さんと同窓生と生徒が集い・交流する「八海会館」を建設したいと話す。

後援会長を務めることになりました。後援会長の務めることになりました。よろしくお願ひい申しあげます。後援会の顧問に



校長
佐藤 一彦

今年四月に県教育庁高等学校教育課管理係から赴任してまいりました。本校には、平成十七年度まで七年間、教諭として勤務させていただきました。懐かしさとともに心地良い緊張感を持つて勤務しております。

昨年の創立二十五周年という節目に、後援会が発足し、この度後援会報第一号の発行にいたりました。心よりお祝い申し上げますとともに感謝申し上げます。

本校は創立以来、新潟県の高校教育のパイオニアとして、輝かし

KJ初代の校長先生・宮沢稔先生がお引き受けくださいました。感謝申し上げます。

昨年度は、後援会設立基金という事で、保護者の皆さんに一口千円、三口以上でお願いしたところ大勢の皆さまからご寄附いただきありがとうございます。今年度からは、年会費として二千円です。で、よろしくお願ひいたします。

そして、企業・団体等へのお願ひは、地元からという事で、南魚沼市と湯沢町の皆さんを訪問させていただきました。一口五千円、二口以上の高額のお願ひにも関わらず、多くの企業の皆さんから賛同いただきました。改めて感謝申

い大学等進学実績を上げ、世界に通用する人材育成をしてきました。これまで送り出した卒業生は三〇〇人を超え、社会のリーダーや中核として、地元をはじめ、国内外で精力的に活躍しています。

本校の魅力は「面倒見のよさ」にあります。これは創立以来継続してあります。また、教職員の熱心な指導並びにPTA・育成会、地域の皆様のご支援、ご協力により、入学後、生徒は学力が大幅に伸び、多彩な学校行事を通じて、進取の精神や豊かな人間性を身につけてきました。

平成二十五年度には「海外大学進学コース」が開設され、海外の大学に直接進学を希望する生徒を指導しています。また、平成二十

し上げます。

さて、今年度は、魚沼市、十日町の企業の皆さんにお願い出来る体制を作り、次年度以降は、長岡、新潟、上越と全県に広げて行きたいと思ひます。その後援会のイメージですけど、アルビレックスの後援会のような、感じがいいのではと思つています……。

六月十五日の日本経済新聞の一面に、精鋭育成「熱いうちに」と23期生の信田さんが写真付きで掲載されておりました。

後援会は、生徒の自己実現のための応援団です。この応援団を全県に広げるために、皆さんと共に汗しましょう。

七年度に文部科学省から県内で唯一SGH（スーパーグローバルハイスクール）の指定を受け、今年度で3年目です。将来のグローバルリーダーの育成を目指して、全校体制で取り組んでいます。今年六月二十六日には、SGH報告会を開催し、県内外から来られた方々や保護者の皆様の前で、二、三年生が研究成果を堂々と報告しました。この報告会を含む本校の教育活動の詳細についてはホームページをご覧くださいませようお願ひ申し上げます。

後援会の皆様から今後とも一層のご支援、ご協力を賜れば幸いです。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

❖ 賛助会活動報告と皆様へのお願い ❖

平成28年度 賛助会決算書

県立国際情報高等学校

収入の部 (単位:円)				
項目	H28予算額	H28決算額	増減	備考
賛助会費	1,200,000	1,330,000	130,000	
25周年記念タオル	0	40,000	40,000	賛助会への振込分
雑収入	125	14	△111	預金利息
積立金	1,121,926	1,121,926	0	
計	2,322,051	2,491,940	169,889	

支出の部 (単位:円)				
項目	H28予算額	H28決算額	増減	備考
繰出金	1,200,000	1,200,000	0	教育振興費へ繰り出し
積立金	1,110,051	1,236,186	126,135	次年度積立金
手数料	12,000	15,754	3,754	ゆうちょ銀行への振込手数料
25周年記念タオル		40,000	40,000	25周年記念事業会計へ
計	2,322,051	2,491,940	169,889	

次年度積立金 1,236,186 円

監査した結果、会計書帳簿、通帳等適正に処理されていました。

平成 27 年 4 月 15 日

監査委員 江口 正人 (印)
 監査委員 岡村 美和子 (印)

振り込み先

ゆうちょ銀行以外の金融機関からの払込用口座番号
 ○五九 (ゼロゴキウ) 店 (059)
 当座 0102829
 新潟県立国際情報高等学校後援会

※お振り込みの際は、何期生かを御記入くださるようお願いいたします。

〇活動報告
 昨年度は賛助会への御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。平成28年度、皆様から130万円を超える御寄付をいただきました。寄せられた賛助会費は、PTA会計における教育振興費、および休日講習会等への繰り出しとして活用させていただきます。なお、今後は賛助会からではなく、後援会からの助成として御報告させていただきます。

〇後援会費についてお願い
 平成28年10月25日の国際情報高等学校後援会発足式・発足総会において、賛助会から後援会

への移行期間中の考え方が、次のように決まりました。
 ・1期〜19期生の保護者の皆様からは、年会費2000円(入会御寄付をお願いする。
 ・20期〜22期生までの保護者の皆様からは、卒業後4年間お願いしている賛助会費を、後援会年会費3000円として引き続きお願いする。5年目からは年会費2000円の御寄付をお願いする。
 ・23期生の保護者の皆様からは、卒業初年度に入会費4000円と年会費2000円を、2年目からは年会費2000円の御寄付をお願いする。

なお、23期生の保護者の皆様につきましては、4年分の一括納入として12000円(入会費+年会費4年分)を御寄付いただければ幸いです。
 後援会といたしましては、これまで通りに教育振興費会計への繰り出しを継続するとともに、国際情報高等学校の更なる発展と新しい歴史作りのために支援を行ってまいります。皆様からの御寄付をよろしく願っています。

県立国際情報高等学校
 後援会長
 育成会長

After School

ここでは、子どもがKJを巣立った後も続く、交流の様子を紹介します。

二十歳を祝う会

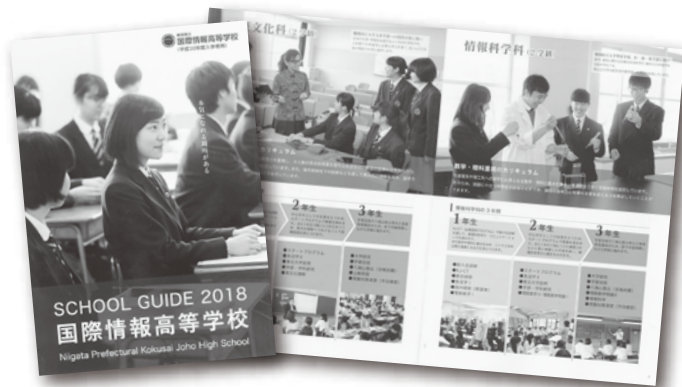
二十一年学年委員長 勝俣 藤彦

五月五日、「ホテルニューオータニ長岡」にて、先生方をはじめ大勢の卒業生保護者から参加いただき、「二十歳を祝う会」を開催いたしました。当日は卒業してから三年の時間を感じさせないくらいの和やかな雰囲気の中で会が始まり、先生方から熱く、温かい激励のお言葉をいただきました。また、卒業生からは大学に行つてからも夢の実現に向かって頑張っているという近況報告があり、成長した子供たちの姿に感激しました。これもひとえにKJで学んだ三年間があったからこそと感謝しています。

盛り上がった「二十歳を祝う会」も二次会、三次会へと進み、どこの会場も大勢の参加者で溢れ、大盛況でした。また、二次会では多くの保護者から、これからも二十一年の保護者が集まる会を開催してほしいとの要望があり、急遽、これからも保護者が集まる会を行うことを決定しました。改めて保護者の繋がりの深さに感激しています。

その後、四次会へと長岡の長い夜は続きました。





▲学校案内パンフレット作成支援(全県の中학생に配布しています。) なお、7月28日(金)、8月24日(木)、25日(金)に体験入学を予定しています。



▲スクールカウンセラー事業支援 (臨床心理士の阿部心平先生が月3回ペースで来校)

◎賛助会支援事業 支援事象の一部を紹介いたします。(今年度からは後援会事業として支援していきます。)



▲各種合宿支援 (3学年:昨年度の志賀高原学習合宿の様子 7/31~8/5)



▲海外研修事業支援 (1学年:昨年度はアメリカ、オーストラリア、タイへ)



▲3学年9月:昨年度のチャレンジ登山

◎育成会支援事業 支援事象の一部を紹介いたします。(育成会事業については今後も後援会報の中で紹介いたします。)



▲1・2学年9月:昨年度のチャレンジウォーク



▲図書購入費支援



▲キャリアガイダンス講演会事業費用の助成 (6月、山形大学・鈴木晃彦先生による講演)

平成29年度 大学入試について

今春卒業した「PRIME」学年ごと、23期生の進路状況をご報告いたします。「気宇壮大 最高の名のごとくあれ」を祈願柱銘とし、受験に挑んで参りました。高い志望を抱き続け、3年間努力した成果が表れ、在籍10名のうち、大学進学率87%、国立大学の延べ合格者は70名(うち進学者56名)となり、私立大学合格者は203名(うち進学者35名)、海外大学合格15名(うち進学者3名)となりました。保護者の皆様のご支援助のもと、生徒と23期スタッフが一丸となった成果であると考えています。また23期は海外大学進学コースの第2期生が卒業し、アメリカの世界大学ランキング48位(東大39位)のカリフォルニア大学サンタバーバラ校への合格など、世界の名門大学に合格者を輩出した記念すべき年となりました。この活躍は、後に続く後輩たちにとっても大きな励みになりました。

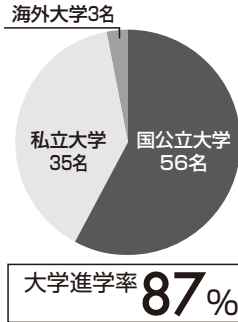
24期生(Regain)学年は、夏の日王山、志賀高原での学習合宿を終えると、いよいよ受験期を迎えます。例年同様、生徒・教職員・保護者が一丸となって、来るべく受験に立ち向かってまいります。後輩たちの活躍にもご期待ください。

進路指導部長 金子将人

主要大学合格者数

国公立大学	合格者数	私立大学	合格者数
北海道	4	早稲田	3
東北	4	慶應義塾	2
筑波	1	東京理科	5
大阪	1	学習院	1
新潟	17	明治	2
長岡技術科学	2	青山学院	1
上越教育	1	立正	5
新潟県立	7	中央	6
新潟県立看護	4	法政	13
金沢	4	同志社	1
千葉	2	立命館	3
東京学芸	1	日本	11
横浜国立	1	東洋	9
山形	1	駒澤	5
埼玉	1	専修	10
富山	1	その他	126
首都大東京	2	合計	203
横浜市立	1		
その他	15		
合計	70		

大学進学状況(平成29年3月卒業)



海外大学(4年制)	US, News*2 ランキング	公私
University of California, Davis	米国内44位 世界51位	州立
University of California, Santa Barbara	米国内37位 世界48位	州立
University of Maryland, Baltimore County	米国内159位	州立
University of Missouri: St. Louis	米国内220位	州立
Pace University	米国内188位	私立
University of Calgary(カナダ)	世界195位	州立
他 9大学に合格		

*アメリカの4年制大学は約2600校設置されています。
*US, News*2 ランキングで東京大学は世界39位、京都大学は世界91位。

第1回後援会総会の御案内

以下の日程で総会を行います。併せて講演会も企画しました。ぜひ、多くの皆様から御出席いただけますようお願いいたします。

- 日時 平成29年10月21日(土) 午後3時~午後5時10分
 - 会場 国際情報高等学校 多目的教室(2F)
 - 内容
 - ・総会(午後3時~午後3時30分)
 - ・講演会(午後3時40分~午後5時10分)
“ふるさとのプロ野球”による地方創生
~新潟県の地域活性化、新潟県への地域貢献~
株式会社新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ
代表取締役社長 池田 拓史 様(6期生)
 - ・懇親会(午後5時30分~午後7時30分)
 - 会場 葡萄の花(南魚沼市浦佐5531-1)
 - 会費 5,000円
- ※池田様も懇親会にご出席になります。

- 参加申込み方法
学校メールアドレス宛に、以下の点をお知らせください。【件名】後援会総会参加申込
- ・参加者氏名
- ・お子様の期()期
※企業・団体の皆様は記入不要
- ・総会(出席、欠席)
- ・講演会(出席、欠席)
- ・懇親会(出席、欠席)
- ・学校から葡萄の花へのバスの利用(する、しない)
- 【学校メールアドレス】
school@kokusajouhou-h.nein.ed.jp
新潟県立国際情報高等学校後援会
- ※学校のホームページから申込用紙をダウンロードし、FAXでも申込み可能です。
※詳しくは学校ホームページをご覧ください。

教育実習を終えて

二十期生 矢作 早葉
三週間の教育実習を振り返り、一番に感じることは「生徒に助けられた実習だった」ということです。教育実習では担当学級でのMHRやAHRに宅習記録帳の確認、そして日本史の授業など生徒と関わる機会を多くいただきました。特に多くの時間で関わったのは授業です。初めての授業では授業プリントや説明の内容を入念に準備して臨んだものの「これで大丈夫だろうか」と不安と緊張でいっぱいでした。実際に授業を行うと拙いところばかりでした。ですが、そんな授業でも生徒は真剣に聞いてくれ、その姿に励まされながら日々授業準備に取り組み、



また、指導教員の金子先生をはじめ、多くの先生方からお忙しい中にも関わらず授業や生徒指導に関して懇切丁寧なご指導をいただけたことをとても感謝しています。特に授業見学ではアクティブラーニングやICT教育など先進的な取り組みを現場で見ることができ、大変勉強になりました。

今回の実習を経て、KJ在学時から抱いていた「高校の先生になりたい」という気持ちがいよいよ強くなりました。それと同時に勉強不足を痛切に感じたため、専門である歴史に加えて教育に関して学びを深めていきます。最後になりますが、教育実習という貴重な体験をKJでさせていただき本当にありがとうございました。